

# 阪南中学校だより

NO.11

令和7年10月10日（金）

発行：大阪市立阪南中学校長 中 西 洋

## 特集！

### 令和7年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査から②

前回（校長だより NO.9）に続き、本年度4月15日（火）と17日（木）に、3年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査の結果から、今回は【学習について】のデータをもとに報告させていただきます。

#### ○全国平均値・大阪府平均値と阪南中学校平均値を比較して

《「そう思う（当てはまる）」、「どちらかといえばそう思う（当てはまる）」等の肯定的なデータの割合から平均値を比較しました》

#### 【学習について】

##### ◇家庭学習について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	詳しく知りたいことがあったときに、学び方を考え、工夫することはできているか。 学校以外、1日当たり、どれくらいの時間、勉強を(1時間以上)。 土・日などの休みの日に、1日当たり、どれくらいの時間、勉強を(2時間以上)。 学習した内容について、見直し次の学習につなげことができているか。 読書は好きですか。 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけ生かしたりすることが。
大阪府より高い ↑	該当するものはありません。
全国・大阪府より低い	学校以外、1日どれくらいICT機器を勉強を使っていますか。(1時間以上)

上記の結果からは、本年度も、阪南中の生徒たちは全国平均より高い値を示す項目が多く、1日当たり「家庭学習」の時間を設定し、しっかり取り組めている現状が見て取れます。また、1日当たりの読書する時間についても高い値を示し、阪南中の生徒たちの読書に対する意識の高さが見て取れます。読書は、様々な意味で学習の基礎を支える大切なポイントになります。ICT機器の活用の推進とともに、校内でも取り組みを進め、今後、より高い値を示すことを期待したいと思います。

##### ◇学校での学習について

全国より高い ↑↑ (全国より良い値を示す項目)	自分の考えを発表する機会で、自分の考えがうまく伝わるよう工夫して発表。 あなたの学級では、話し合い、互いの意見を活かして解決方法を決めている。 周りの人の考えを大切にして、協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。 授業で課題の解決に向けて、自分で考え取り組んでいましたか。 道徳の授業では、考えを深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいます。 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたりすることができますか。 学級での話合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。 国語の勉強は好きですか。
-----------------------------	--

→裏面に続く

全国より高い ↑↑ <small>(全国より良い値を示す項目)</small>	国語の授業の内容はよくわかりますか。 国語で、先生は、あなたの良いところやできるようになった所を伝えてくれますか。 国語で、先生は、うまくできていない所を伝え、どうしたらできるか教えてくれますか。 数学の勉強は好きですか。 数学の勉強は得意ですか。 数学の授業の内容はよくわかりますか。 数学の問題の解き方がわからないときは、いろいろな方法を考えますか。 理科の勉強は好きですか。 理科の授業はよく分かりますか。 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や授業の計画を立てていますか。 授業では、観察や実験をよく行っていますか。 P C ・タブレットなどの I C T 機器で文章を作成することができると思うか。 インターネットを使って情報を収集することができると思うか。 P C ・タブレットなどの I C T 機器を使って情報を整理することができると思うか。 I C T 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思うか。
大阪府より高い ↑ <small>(大阪府より良い値を示す項目)</small>	理科の勉強は得意ですか。 自分で課題を立てて情報を集め整理して、発表する学習活動に取り組んだ。
全国・大阪府より低い	国語の勉強は得意ですか。 I C T 機器を、どの程度使用しましたか（週 3 以上）。

阪南中学校では、本年度も継続して、新たな学びに対応する授業づくりのため授業研究を重ね、併せて、「わかる授業」の実現に取り組んでいます。上記の結果からは、質問項目に上がっていた国語・数学、本年度は理科の授業についても、「よくわかる」「大切だと思う」等の項目については、何れも高い値を示し、よい結果を示していると考えています。しかし、本年度の新しい調査項目「P C ・タブレットなどの I C T 機器で文章を作成することができると思うか。」「インターネットを使って情報を収集することができると思うか。」「P C ・タブレットなどの I C T 機器を使って情報を整理することができると思うか。」「I C T 機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができると思うか。」というような I C T 機器の生徒の活用にかかる項目については、高い値を示しながら、「I C T 機器を、どの程度使用しましたか（週 3 以上）。」というような、実際の授業での I C T 機器の活用については高い値を示していません。この結果より、生徒の個別の端末（タブレット）の活用について、十分活用が進んでいない状況を示し、心の天気や相談機能の活用だけでなく、阪南中学校全体で、授業や総合・学活での活用が、生徒からも求められ、さらに取り組みが必要なことを示しています。2 学期から新たに、生徒の個別の端末（タブレット）の持ち帰りも始めました、それらを活用した探求的学習にも取り組みたいと考えています。1 学期に続いて、9月 8 日（月）から、個々の教員の授業力の向上のため、校内授業研究の強化週間（相互授業参観）に全教員で取り組みます。生徒たちが学習に高い意欲をもって臨んでいることを示すデータもあります。生徒たちが、さらに「前向き」に授業に取り組めるよう、工夫や改善を進め、本校に対する各種調査結果の数値向上にも確実に繋げたいと考えています。